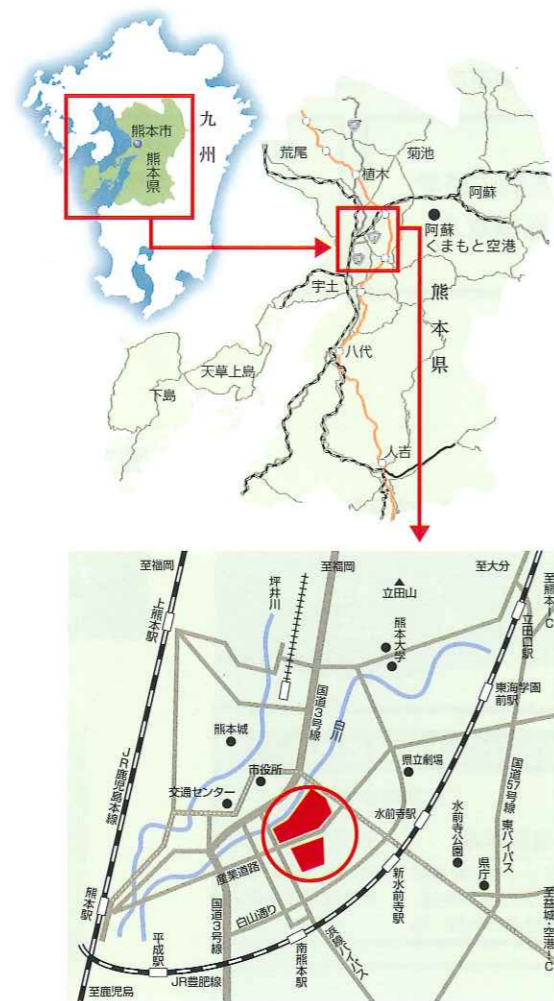


臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践

Advanced Education Program for Integrated Clinical, Basic and Social Medicine



熊本大学 大学院医学教育部 医学専攻
〒860-8556 熊本市本荘1丁目1番1号 TEL 096-373-5025

<http://igakugp.kuma-u.jp/>

広く、深く
学び、思考し
そして世界へ。



熊本大学 大学院医学教育部 医学専攻

<http://igakugp.kuma-u.jp/>

深く、そして広く。分野を超えた教育・研究

医学を通じた社会貢献には臨床・基礎・社会医学の3つの柱があります。

今社会が求めているのは、この三者の高度な知識・技術をバランスよく兼ね備えた人材です。

熊本大学大学院医学教育部では、教育コースの連携による一体型プログラムにより、分野を超えた教育・研究を実施。

幅広い知識と深い思考力を備え、国際的研究能力を有する研究者、

高い研究志向と問題解決能力を有する医師・高度専門医療職業人を育成します。



一体型
プログラムの
メリット



求められているものは、理解のバランス

「代謝・循環情報医学エキスパート育成コース」および「発生・再生医学研究者育成コース」。この二つのコースが連携し、臨床医学、基礎医学、社会医学をバランスよく学ぶことで、次のような領域における理解を深めます。

生活習慣病発症・ 臓器障害機序 糖尿病、動脈硬化症、 心筋梗塞など	生活習慣病の疫学・ 最新医療など	臓器発生・再生機序 血管、心筋、膵β細胞など 再建・再生医療 臓器移植など	生命倫理・医療倫理
--	-----------------------------	--	------------------

教育プログラム

プログラムの概要

大学院教育コースの連携による臨床・基礎・社会医学一体型教育

	代謝・循環情報医学 エキスパート 育成コース	発生・再生医学 研究者育成コース
講義科目	臨床・基礎・社会医学一体型講義体系	
	医療情報・倫理学理論 臨床医学系 代謝循環制御学理論 先端治療医学理論 機能再建医学理論 他	生命倫理学特論 基礎医学系 生体分子情報学理論 発生・再生医学特論 移植免疫学特論 他
コースワーク 演習科目	臨床・基礎・社会医学一体型プラクティス	
	医学実験講座 医学・生命科学演習	発生・再生医学実習 発生・再生医学演習
研究指導 科目	臨床・基礎・社会医学一体型研究指導	
	臨床医学系実践Ⅰ 臨床代謝情報学実践Ⅲ 代謝情報学実践Ⅱ 代謝情報疫学実践Ⅱ	基礎医学系実践Ⅰ 臨床医学系実践Ⅱ 基礎医学系実践Ⅱ

卒業後の進路

代謝・循環情報医学 エキスパート 育成コース	発生・再生医学 研究者育成コース
臨床・基礎・社会医学 横断的先端教育	
先端医学・生命科学の領域横断的エキスパート	
医療機関 先端臨床分野の専門医師 糖尿病、循環器、内分泌、再生医療、再建外科等の診断と 治療に携わる専門医師	
教育・研究機関 先端医学分野の研究者・技師 代謝分子を標的とした病態解明、 発生・再生医学の確立に貢献する研究者・臨床検査技師	
保健・厚生機関 先端医療分野の専門職業人 生活習慣病のヘルスプロモーション、 移植医療のコーディネーション、生命倫理・医療倫理の専門家	

国際的人材の育成

- 留学生の積極的受け入れ
- 英語による講義の実施
- 国際学会参加・発表奨励
- サマーフェロウシップ派遣
- 短期海外共同研究派遣

領域横断的研究・教育

- グループワークによるProblem Based Learning
- 研究指導科目の相互履修
- 合同プログレス・レポート
- オープンディスカッション
- リサーチアシスタントの相互採用



一体型教育

自由な組み合わせで知識と経験を積む

臨床・基礎・
社会医学一体型教育

◎代謝・循環医学、発生・再生医学をカバーする最先端の専門知識を習得します。

代謝・循環医学、発生・再生医学をカバーする臨床・基礎・社会医学の講義科目を組み合わせることで履修することができます。また、研究指導科目の組み合わせ履修による多様な研究指導体制も整っています。例えば、医師の場合は、演習と実験を主体とする内科学実践と、実習を主体とする幹細胞学実践を組み合わせることで、幹細胞生物学に精通した専門医師を育成するなど、組み合わせ方によりさまざまな分野に精通した人材を育成します。



領域横断的
教育・研究

人との交流が、次の道を拓く！

領域横断的な研究・教育

◎異分野の大学院生・ポスドク・教員が集結するリエゾンラボ。

多様な分野の人材が集まって行うグループワークによるProblem Based Learningや研究指導科目の相互履修、違う分野の人材を雇用するリサーチアシスタントの相互採用などによって生まれる人材の交流が、分野を超えた学術交流を生み、幅広い知識や技術の習得につながります。



国際的人材育成

世界と対等に渡り合う

国際的人材育成

◎日本のみならず、世界をリードする人材を育成します。

留学生を積極的に受け入れ、英語による講義も行います。また、国際学会への参加・発表はプログラムに含まれ、単位化されます。国際学会出席、サマー・フェロウシップや短期海外共同研究派遣、国外でのフィールドワーク参加などには、旅費等の助成も行います。

